

# 耳鼻咽喉科学

[M6-70046P1]

## 1 臨床実習の概要

耳鼻咽喉科学実習では耳鼻咽喉科領域の疾患を持つ患者の診療に積極的に参加し、耳鼻咽喉科領域の主要な病態、診断、治療を理解し、患者とチームメンバーを尊重した耳鼻咽喉科領域の疾患に関わる医療を学ぶ。ユニット講義の学習を発展させ、臨床実習だけではなく関連ユニット講義の到達目標も合わせて達成するように進める。

## 2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技能
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探求心

## 3 臨床実習の学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 担当患者ならびに関わる多職種と良好な人間関係をつくることのできる（①④）
- 耳鼻咽喉科領域の疾患を通して疾患を探究する方法論（文献検索と理解など）を実践できる（②③⑥）
- 耳鼻咽喉科領域の疾患の症例を自ら学び、まとめ、症例提示をすることができる（③⑥）
- 耳鼻咽喉科領域の疾患の患者を通して…
  - ・ 医療面接、身体診察など基本的な情報収集ができる（③）
  - ・ 収集した情報から臨床問題の提示、主要な鑑別診断を挙げることができる（③）
  - ・ 臨床的諸問題に対して初期計画（診断、治療、教育）を立案できる（③）
  - ・ 主要な症候・疾患における病態生理、組織学的・臨床的特徴、診断基準を説明できる（③）
  - ・ 主要な症候・疾患における必要な検査、治療、合併症、予後の要点を説明できる（③）
  - ・ 基本的な検査を実施し、結果を解釈できる（③）

- 耳鼻咽喉科の医療に関わる…
  - ・ 多職種・チーム医療に学生として参加できる (④)
  - ・ 社会制度 (厚生医療など) を説明できる (④⑤)

## ※主要な症候、疾患、検査、治療

### 症候

難聴、めまい、耳痛、鼻漏、鼻閉、鼻出血、頭痛・顔面痛、咽喉頭痛、開口障害、嚥下障害、発声障害 (嗄声、構音障害)、呼吸困難、顔面頸部腫脹・腫瘤

### 疾患

中耳炎 (滲出性、急性、慢性、真珠腫性)、感音難聴 (突発性難聴など)、めまい症 (末梢性、中枢性)、顔面神経麻痺、副鼻腔炎 (急性、慢性、真菌性)、アレルギー性鼻炎、鼻出血、嗅覚障害、味覚障害、咽喉頭の炎症性疾患 (急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、扁桃病巣感染症、急性喉頭蓋炎など)、睡眠時無呼吸症候群、声帯ポリープ、反回神経麻痺、嚥下障害、耳鼻咽喉科領域の異物

### 検査

聴覚検査 (純音聴力検査、語音聴力検査、チンパノメトリー、聴性脳幹反応など)、平衡機能検査、嗅覚検査、味覚検査、音声機能検査、嚥下機能検査、超音波検査、画像診断、内視鏡検査

### 治療

外科的療法 (鼓膜チューブ留置術、鼓膜形成術、鼓室形成術、内視鏡下鼻副鼻腔手術、鼻中隔矯正術、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、扁桃周囲膿瘍切開術、喉頭微細手術、気管切開術など)、耳鼻咽喉科外来処置、薬物療法 (抗菌薬、ステロイド薬、生物学的製剤など)、リハビリテーション (言語障害、聴覚障害、嚥下障害など)、補聴器

## 4 方 略

手術実習、手術解剖講義、外来実習、ならびに外来検査実習

## 5 事前事後学修について

ユニット講義シラバスならびに4年次実習予習ノートを通覧しておくこと

【自己学習 (事前事後学修) に必要な時間】

実習1日あたり 予習：30分 復習：30分

## 6 課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

実習中の課題検討会等で適宜フィードバックを行う。

## 7 評 価

- ・ 臨床実習出席状況
- ・ 実習参加中の学修態度、習熟度
- ・ 課題レポート
- ・ その他

上記の評価項目を別途定めた臨床実習の評価基準に沿って判定する。

## 8 実習スケジュール

別項参照

## 9 教 育 担 当 者

実習責任者：志賀 英明（耳鼻咽喉科学）

担当教員： 志賀 英明、酒井 あや、木下 裕子、中村 有加里、石倉 友子、  
佐伯 静華、湊 梨穂

## 10 参 考 図 書 ・ 文 献

購入すべき図書

標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 第4版 医学書院

New Simple Step 耳鼻咽喉科 総合医学社

あたらしい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 中山書店

病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科 医療情報科学研究所

購入するとよい図書

新耳鼻咽喉科学 第12版 南山堂

参考図書

ネッター解剖学アトラス原書 第7版 南江堂

内視鏡下鼻内副鼻腔手術 -副鼻腔疾患から頭蓋底疾患まで 医学書院

中耳・側頭骨解剖アトラス 医学書院

※実習には必ず教科書（電子図書可）を持参すること。

# 耳鼻咽喉科学

## 週間スケジュール

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月		共通: オリエン テーション (第1週) [志賀 医局]	Aチーム:手術実習 [志賀、酒井、木下、湊] Bチーム:外来検査実習 [佐伯、技師@外来検査室]		昼休み	共通:課題レポート作成 [各自@カルテ記録室]		手術解剖 講義 [志賀@ 医局]		
火		Aチーム:外来実習 [酒井、木下、中村@外来診察室] Bチーム:課題レポート作成 [各自@カルテ記録室]			昼休み	Aチーム:課題レポート作成 [各自@カルテ記録室] Bチーム:嗅覚外来実習 [志賀@外来診察室]		共通:3Dモデ ル手術シミュ レーション@C SCまたは外来		
水		共通:手術実習 [志賀、酒井、中村、石倉、湊]			昼休み	共通:課題レポート作成 [各自@カルテ記録室]				
木		Aチーム:課題レポート作成 [各自@カルテ記録室] Bチーム:外来検査実習 [木下、技師@外来検査室]			昼休み	Aチーム:睡眠外来実習 [酒井@外来診察室] Bチーム:課題レポート作成 [各自@カルテ記録室]				
金		国試対策講義			昼休み	共通:課題検討会 [志賀@医局]				

初日の集合場所・時間：臨床研究棟4階 耳鼻咽喉科学医局 午前9時

自習時間であっても9時から16時までは学内で待機すること

AチームとBチームは1週ごとに交代、手術実習では少なくとも1例で助手として参加すること

課題レポート作成には電子カルテを使用すること

※実習には必ず教科書を持参すること（電子図書可）。

【遅刻，欠席の場合】集合時間前までに①教学課欠席報告フォームに入力

8:45～9:00の間に②秘書室に電話連絡 Tel:076-218-8147(耳鼻科直通)